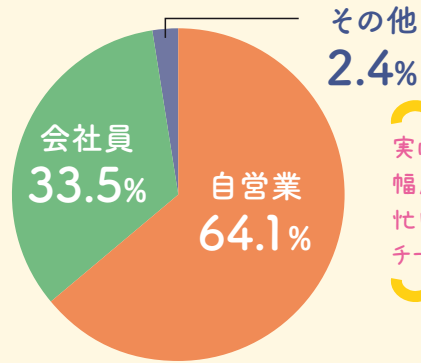


消防団は、 こんな人が活動をしています

「特別な人が担うもの」とわれがちな消防団ですが、実際は多様な職業の人が参加しています。円グラフでその内訳を見ると、身近な存在であることが分かります。



実は農家や飲食店、会社員など幅広い職種の人がいるので、忙しいときは協力し合っチームで運営しています!

救命救急講習



女性団員も活躍中!



心肺蘇生やAEDの使い方、止血法などを学び、地域での“もしも”に備えています。また、上位資格を取得し、消防署が開催する市民向け講座の講師を担当するメンバーもいます。



はたらく消防写生会

市内小学校に出向き、子どもたちに消防車や隊員の絵を描いてもらいます。観察や質問を通じて、防災や防火意識を育み、消防を身近に感じてもらいます。

広報活動

イベントや啓発活動、動画制作、HPなどでの活動報告を通じて、防災の大切さや消防団の活動を伝えています。



防災や救命に関する知識は、地域のためでもあり、家族の安心にもなっています!



ご家族の声

夫が消防団員として、地域のために活動する姿を見せたくて、イベントに参加しています。5歳の息子が「大きくなったら消防車にのるお仕事がしたい」と言うようになりました。家族として地域のために頑張る姿を見て協力していきたいと考えています。消防団活動が多くの子どもたちに良い影響を与えてくれたらうれしいです。



大谷さん

消防団員の想い



本橋さん

私は社会人5年目の会社員です。令和7年6月に消防団へ入団いたしました。入団後は諸先輩方にご指導いただきながら訓練や点検に参加しています。今後も地元に貢献できるよう、活動していきたいです。



小林さん

私は大学3年生でデザインを学んでいます。制服に憧れ令和7年4月に入団しました。水防訓練の広報写真制作を通じ、得意を地域に生かす喜びを実感しました。今後もデザインで防災情報を分かりやすく伝え、地域に貢献します。



北多摩地区約50台のポンプ車が集結

北多摩地区消防大会

9/27(日) 午前8時40分～11時30分(予定)
東村山中央公園

北多摩地区17市の消防団員が一堂に集結し、消防ポンプ車によるパレードや一斉放水が行われるイベントです。北多摩地区消防団員の技術向上と各地域の連携強化を図るため、毎年実施しています。



消防団員募集

在住または在勤で18歳以上65歳以下の健康な方が対象です。消防団員を経験し消防庁へ就職した人もいますので、まずは基礎を経験したいという学生も入団可能です。非常勤特別職の地方公務員となり、年額報酬に加え、出勤に伴う報酬が支給されます。勤務年数によって退職金があります。

消防団は、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という思いのもと、本業を持ちながら、訓練などに参加し、地域の防災活動に取り組んでいます。消防団活動に参加するために、特別な資格は必要ありません。必要なのは「地域の安全・安心のために貢献したい」という熱意です。あなたも地域を守る消防団活動に参加してみませんか?

〒西東京市消防団事務局 ☎042-438-4010(直通)



市公式
YouTube